



旭川赤十字病院

旭川赤十字病院 救命救急センター



道北における救急医療の拠点として、最先端の医療機器と経験豊かなスタッフが、24時間体制でみなさまの救命をサポートしております。

旭川赤十字病院 救命救急センターのあゆみ

1978年 救命救急センター 開設

1989年 病棟増改築、ER移設

1990年 救急外来 専従看護体制

救急病棟 ICU/CCU病棟 看護詰所独立

1999年 全国救命救急センター評価 : Bランク

2000年 救命救急センター ホットライン(専従医)体制整備

2001年 全国救命救急センター評価 : Aランク

2001年 Strokeセンター(SCU) 併設

2008年 新病棟・救命救急センター 完成

2009年 道北ドクターヘリ事業 開始



センター スタッフ (R7.3.31現在)

< 専門医 >

- ・ 日本救急医学会専門医 2名 (小林、川田)
- ・ 日本集中治療医学会専門医 3名 (小林、飛世、川田)



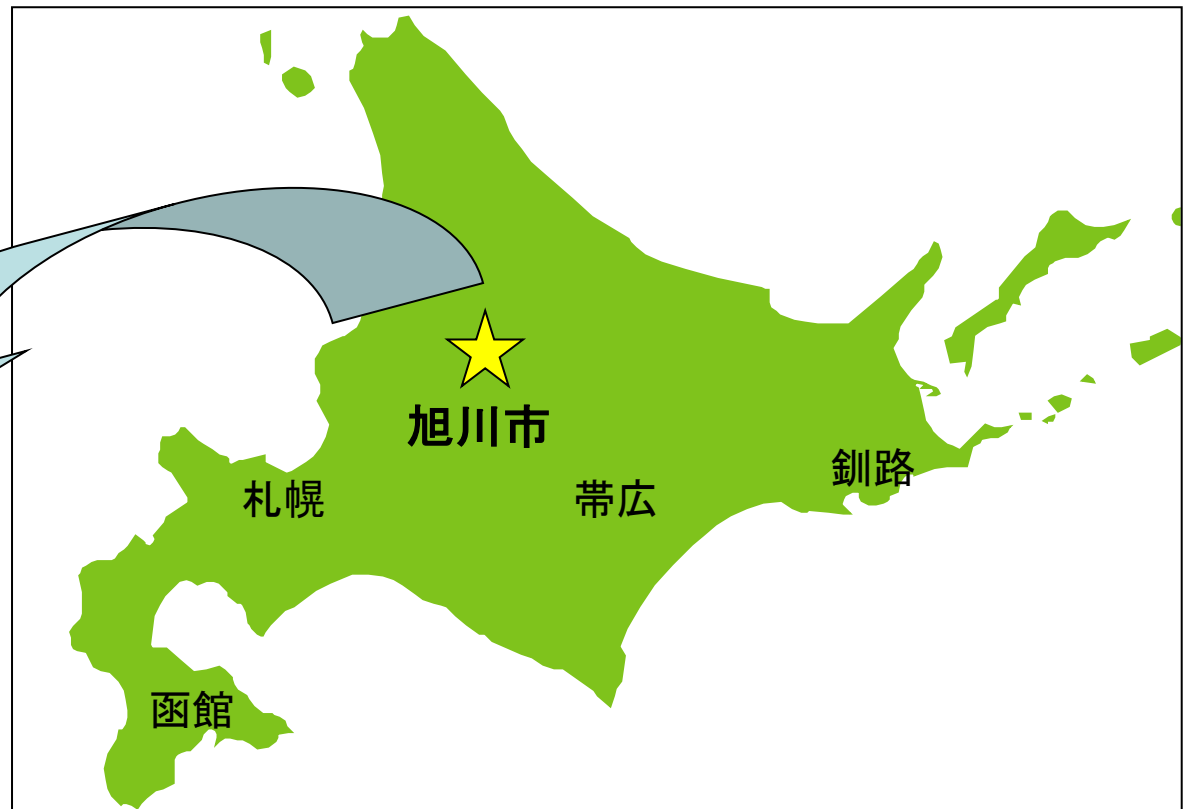
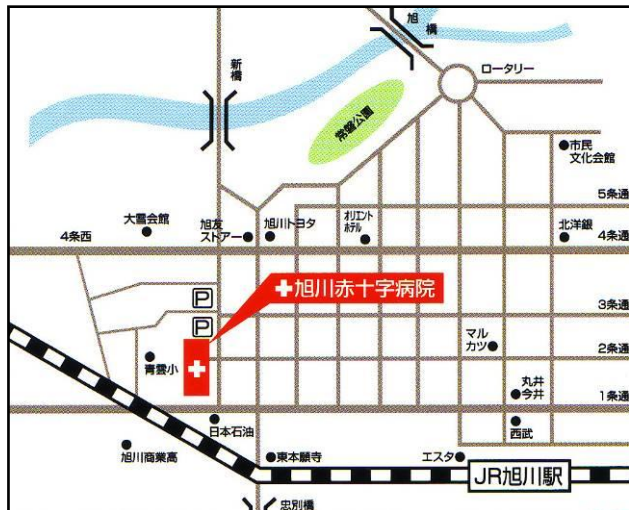
☆ この他に、麻酔科・救急科医師19名をはじめ患者さんの病態に応じて、各科医師が24時間体制で診療にあたっております。

< 看護スタッフ >

- ・ ER / HCU 59名
 - ・ ICU / CCU 29名
 - ・ SCU 46名
- (R7.3.31現在)

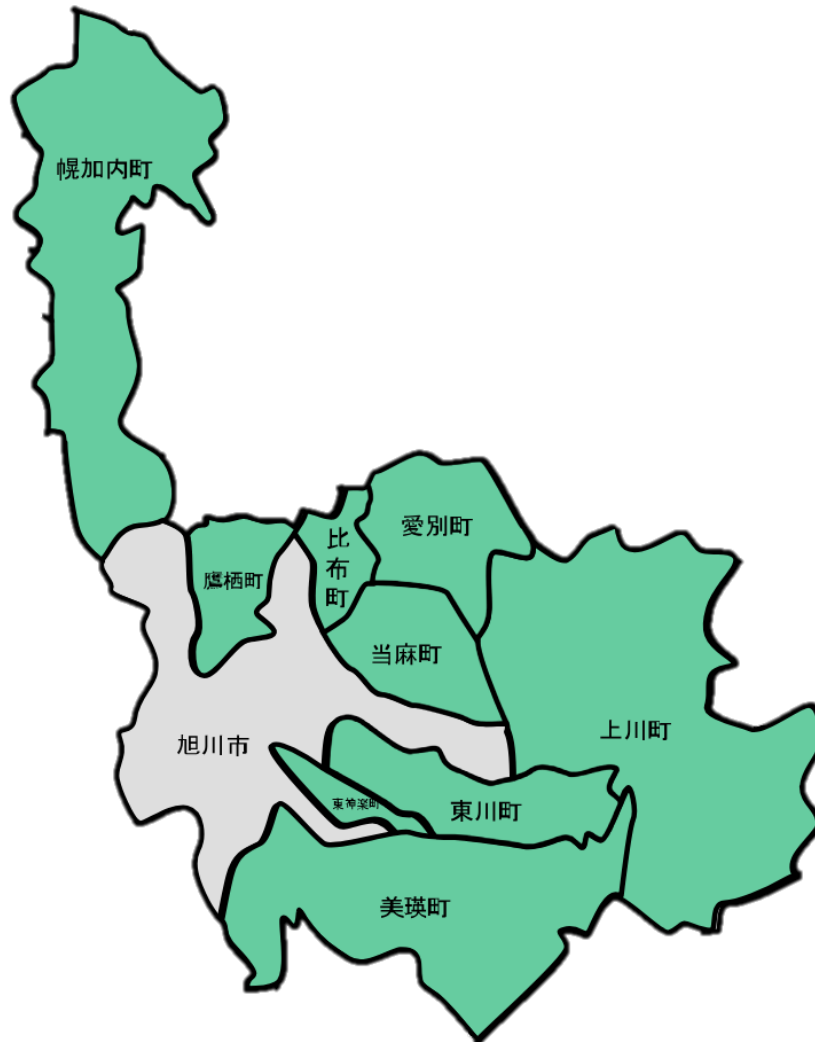
< 病床数 >

- ・ ER ストレッチャー 6台
- ・ HCU 20床
- ・ ICU / CCU 3/3床
- ・ SCU 24床

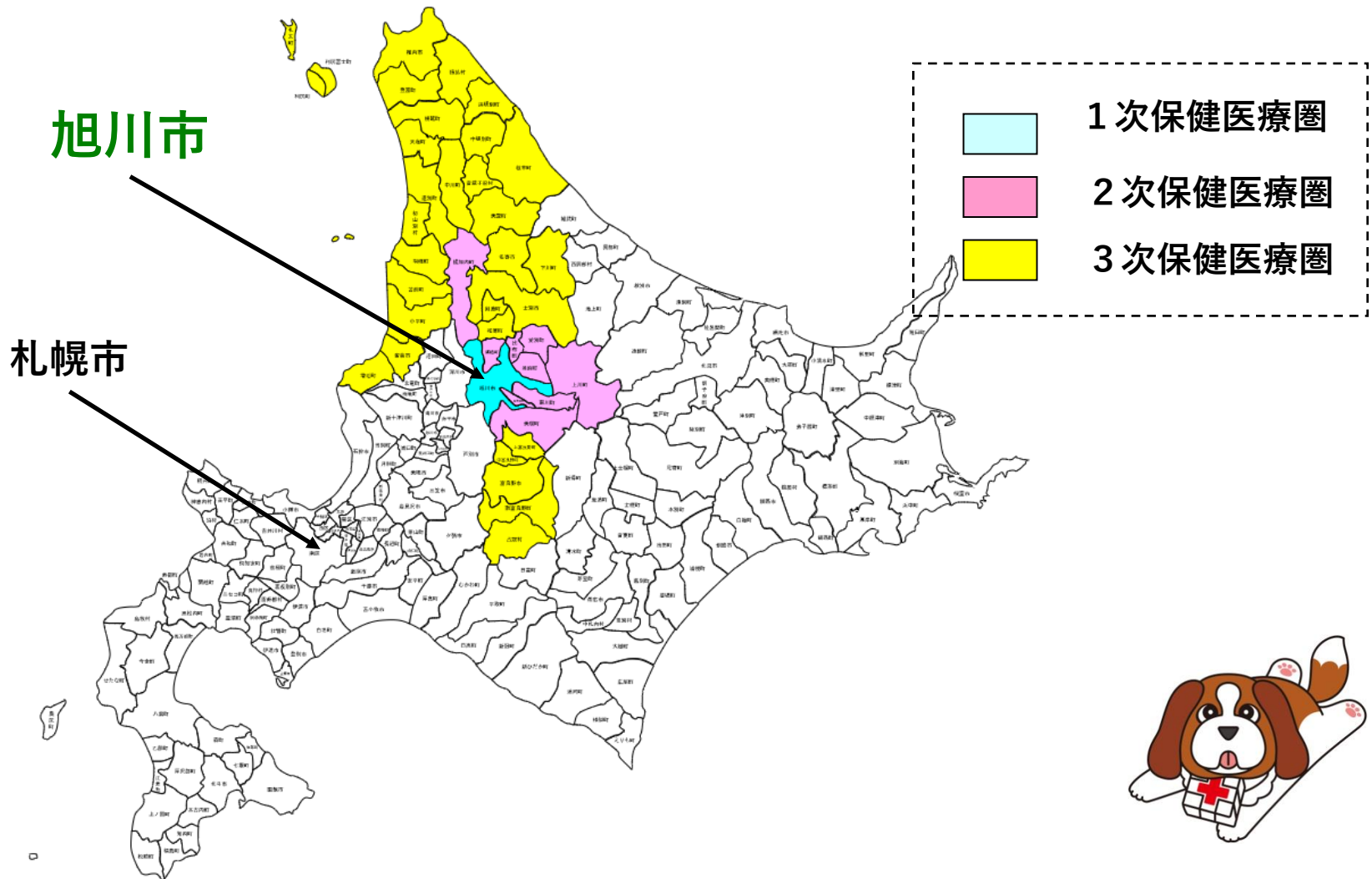


病院は旭川市の中心部に位置している

2次医療圏(人口約37万人)から傷病者を受け入れている



救命救急センターとして、3次医療圏もカバーしている



救急患者の受け入れ実績

- ◆ 救急外来患者延数 8,609人/年
- ◆ 救急車搬送受入台数 4,835台/年
- ◆ CPA患者受入数 249人/年

(令和6年度)



Hot Line



救急外来 (ER)



屋上ヘリポートからの傷病者受け入れ風景



同時に2名の蘇生処置
を可能とする最新設備



ACS、低体温、薬物中毒等によるCPA症例では、救命のためにPCPSを回すこともある

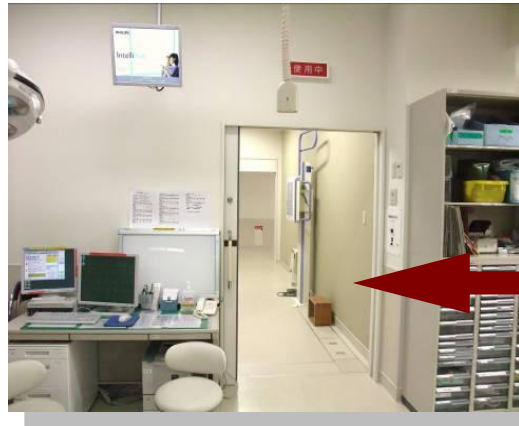
24時間対応の画像診断と検査部門 1

マルチスライスCT装置



320列エリアディテクターCT 1台
64列マルチスライスCT 1台

ERに隣接した
レントゲン撮影室



撮影の数分後には、画像が
電子カルテに反映される



24時間対応の画像診断と検査部門 2



MRI撮影装置



血管撮影装置



AMIの患者が来院したときは、循環器内科医、放射線科技師、臨床工学技師、看護師が駆けつけて、PCIを行える体制をとっている

MAGNETOM Skyra 3T
MAGNETOM Avant 1.5T
MAGNETOM Symphony1.5T
の3台が、フル稼働している

道北における脳神経疾患治療の要



道北における脳卒中、
頭部外傷など重篤な
神経疾患患者さんの
大部分は、当院に救急
搬送され、治療を受け
ております。

最新の手術室（10室）



保温と急速輸血(ER)



遠赤外線体温保持装置



Warm Touch



**Level 1 System 1000(右)
輸血(輸液)加温装置(左)**



輸液加温装置

重症熱傷患者 治療



重症熱傷患者に対しては、麻酔科医による全身管理とともに、形成外科医による皮膚移植治療を積極的におこなっている。

I C U (3床) / C C U (3床)



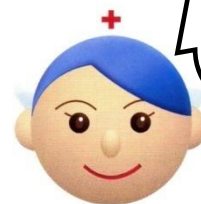
看護スタッフ





旭川赤十字病院

H C U (High Care Unit) (20床)



ERから入院された患者さんの全身状態が安定するまで、ここで治療を行います。



PCPSごとERから移動

S C U (Stroke Care Unit) (24床)



脳卒中などの重篤な神経疾患で入院された患者さんの治療は、ここで行われます。

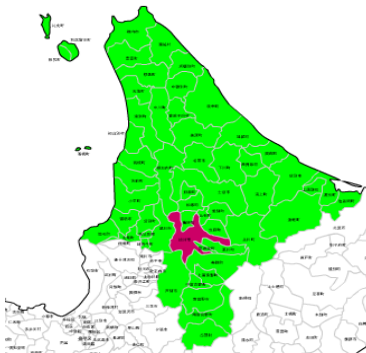


道北ドクターヘリ事業

平成21年10月より、
国と道の補助を受け
当院を基地病院とし
たドクターヘリ事業
が開始されました。

主として、道北圏、
北空知および遠紋地
域の救急患者さん
に対応します。

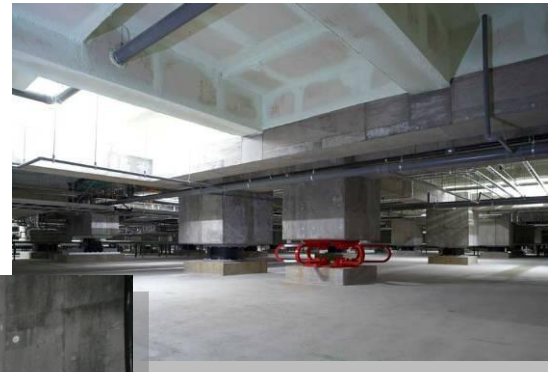
詳細については、
「道北ドクターヘリ
事業」のページを
ご覧ください。



屋上ヘリポート



免震構造



地震の際にも災害拠点病院としての機能を維持するために、救命救急センターおよび入院病棟のある新棟は、免震構造となっています。

ホットラインシステム

当院（三次救急）では、市中病院（一次、二次医療施設）及び救急隊の判断により当院救命救急センターへの搬送依頼があった場合、迅速に対応できるよう、「ホットライン」（救急専従医が24時間電話を携帯）を設置している。

- 医療機関の場合： Doctor to Doctor のみ
- 消防機関の場合： 救急隊/救急指令 to Doctor のみ

ホットライン
090-〇〇〇〇-××××

センター当直医が24時間
三次救急患者の対応を致します



旭川赤十字病院
救命救急センター

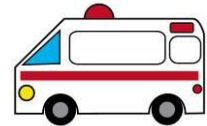


当院のホットラインシステム



医療機関

救急隊



受け入れ
決定

救命救急センターホットライン

ホットライン対応医師によるトリアージ・治療開始

病院日当直医師

専門各科待機医師

- 救急救命士の特定行為に対する On line 指示 -

道北管内および深川の消防隊から要請された場合、
ホットライン対応医師が指示を出します。

心肺停止患者の場合

- ・ 器具を用いた気道確保および気管挿管
- ・ 静脈路確保
- ・ 電氣的除細動：包括的指示→具体的指示へ移行した場合
- ・ 薬剤投与：エピネフリン投与

アナフィラキシーショックの場合

- ・ 患者持参のエピキック投与



Hot Line

麻醉救急集中治療医、救急集中治療医 募集中

救急医療やドクターヘリに興味がある方は、
当院の救命救急センターで共に働きませんか？
病院見学も随時受け付けております。
興味のある方は、ご連絡ください。



また、麻醉救急集中治療の「後期研修コース」も用意されております。

ERには医師研修のエッセンスが集約されており、臨床研修に最適の環境です。
我々とともに、救急医療を学びましょう！

連絡先：TEL 0166 - 22 - 8111(代表)

救命救急センター長 小林 巖 qq@asahikawa-rch.gr.jp

または 職員課 shokuin@asahikawa-rch.gr.jp



DMAT